



東芝バスケットボール部ブレイブサンダース

# ニック・ファジーカス選手

世界のチームで活躍してきた長身のプレーヤー

## ◆ アメリカ出身

**今**回は川崎市に本拠地があり、2013-2014「神奈川県スポーツ賞」と、2回目になる「川崎市スポーツ特別賞」を受賞した、東芝バスケットボール部ブレイブサンダースで大活躍のニック・ファジーカス選手にお話をうかがいました。

ニック選手は、2013-2014レギュラーシーズンMVP(※1)およびベスト5を受賞、そして来日通算2000ポイント達成、「ボカリスエットNBL(※2)月間MVP」に2回選ばれました。

### バスケットボールをはじめたきっかけは？ また、外国(日本)でプレイしようと思ったのは？

父がバスケットボールプレイヤーだったので、私も5才からバスケットを

始めました。私も背が高い(210cm)ですが、両親も背が高いんですよ。

大学卒業後、アメリカのNBAやヨーロッパ、フィリピンでプレイしていました。フィリピンにいた時東芝のチームにスカウトされて、いろいろな人とのつながりから来日することを決めました。(大島通訳とも当時からの仲間です。)

### 日本人のチームメイトやスタッフとのコミュニケーションは？

チームに所属して3年ですし、バスケットボールについてはお互いに良くわかっているの、練習や試合中のコミュニケーションは問題ありません。

でもやはり、言葉が一番苦労しています。外国人選手は週1回日本語クラスに参加するのですが、理解できるのは簡単な会話くらいですね。日本語を読み書きすることは難しいです。また、一人暮らしなので、同じ階に住んでいるチームメイトがゴミ出しなどいろいろ手伝ってくれます。

### 川崎市の好きなおところは？ 休日は何をしていますか？

まず、安心・安全なところが良いですね。また、交通が便利でわかりやすいです。

休日はよく映画を見に行きます。川崎にはシネコンがたくさんあっていいですね。料理や食べ歩きも趣味で、新しいお店を調べて友人やチームのみんなと行ったりします。でも、日本語の看板やメニューが読めないの、英語メニューがあるところが多いです。

将来、ニックさんのようにプロバスケットボールプレイヤーになりたいと思っている日本の子どもたちにメッセージをお願いします。

まず、みんなに伝えたいことは「できない」とか「無理」のような言葉を口にしないこと。もちろん、簡単なことではないけど、忍耐強く目標をあきらめないこと。自分自身、NBA(※3)は無理だと周りからは言われたけれども、あきらめなかったの、夢をかなえることができました。

また、練習する時はだらだら続けるよりも、20~30分集中してしっかり取り組むと効果的です。

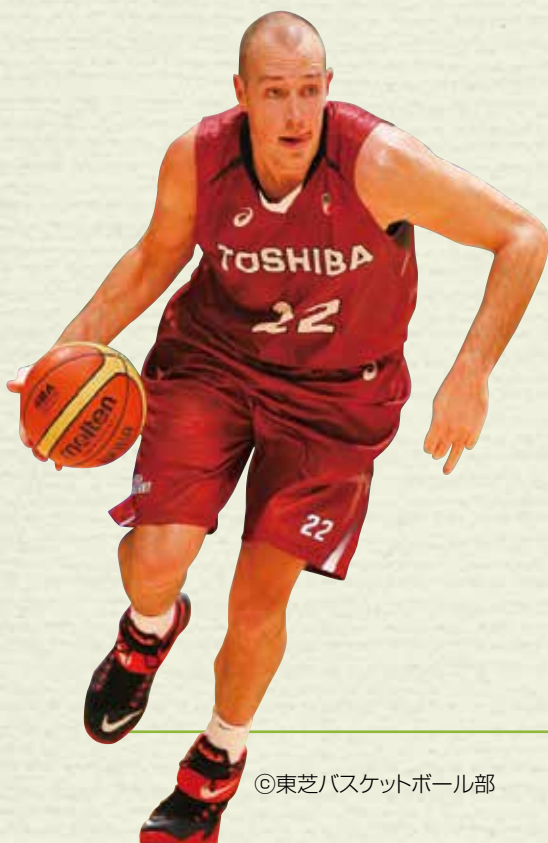


©東芝バスケットボール部

シーズン中のお忙しいところ、あたたかく迎えてくださったニック選手と東芝バスケットボール部ブレイブサンダースのスタッフの皆さん、ありがとうございます。

ニック選手のバスケットボールへの愛情と情熱に胸をうたれました。そして、チームのあたたかい雰囲気がとても魅力的でした。

(取材・文：編集ボランティア 青柳尚子)



©東芝バスケットボール部

※1 Most Valuable Player、最優秀選手 ※2 ナショナル・バスケットボール・リーグ(日本)  
※3 National Basketball Association(北米のプロバスケットボールリーグ)